

# 町長と語る

## 第59回 被災地支援の職員に聞く 「東日本大震災の教訓」



のごみ分別など、屋外での仕事がたくさんあり、朝五時から夜九時頃まで大忙しの毎日でした。

支援活動に当たりました。

糸賀（環境課） 私は

石巻市の釜小小学校へ。乾いたヘドロが砂ほこりになって舞い、臭気も強烈でした。

高岸（道路河川課）

私は石巻市の蛇田中学校へ。内陸部なので津波も来ず、被害は比較的軽微でした。

町長 現地では主にどんな活動を？

岩崎 私の場合は、余震が続く津波警報が発表される中での人命検索活動です。神奈川県隊としては初日に、三人の生存者を救出できました。

町長 各避難所での支援活動も、さぞ大変だったのではないですか。

鹿島 私が行った湊小では、被災者の出入りを把握し、転出入記録を作成するのが主な屋内での仕事でした。人の出入りが激しく、結構大変でした。ただ、救済物資の仕分けや配布などは、ボランティア団体がすべて引き受けてくれたので、助かりました。

鹿嶋 でも、ほかに日に三回の仮設トイレの掃除やたき木作り、道の修繕、大量

のゴミ分別など、屋外での仕事がたくさんあり、朝五時から夜九時頃まで大忙しの毎日でした。

戻り津波の犠牲になった人が多数います。葉山も海に面しているので、大地震が来たら、とにかく急いで高台へ避難を。それが鉄則です。

岩崎 その際、車での避難は危険です。今回も渋滞で車が動けず、命を落とされた方が大勢いましたから。

鹿島 早く、的確な避難のためには、ふだんから自分の位置を正確に知っておくことも大切です。海抜や直近の避難場所や逃げ道はどこにあるのか。そうしたことが一目で分かる防災マップのようなものがあれば、避難もスムーズにいくはずですよ。

糸賀 今回の地震では携帯電話がつかず情報が途絶え、不安を感じた人も多いと思います。携帯ラジオや数日の食料・飲料水などを入れ、すぐに持ち出せる非常防災袋を常備しておく

と、いざという時に大変役立ちます。

町長 町では現在、県や沿岸の市町と協力して、津波対策などを見直し中です。従来の想定津波の高さは六メートルですが、万一、それを超える高さの津波が来襲したら危険です。そこで、町内各地の標高、避難場所などが一目で分かる防災マップを早急に作成し、全戸配布する予定です。今日の現地報告も参考に、職員や関係機関とともに、大地震の備えを固めていきたいと思えます。

町長 まず皆さんの派遣先と現地の第一印象から伺います。いかがでしたか。

岩崎（消防署） 私は神奈川県緊急消防援助隊として、仙台市宮城野区へ。地震翌日の想像を絶する惨状に、息をのむ思いでした。

鹿島（道路河川課） 石巻市の湊小学校の避難所です。裏手の寺の墓石の上に、車が何台も打ち上げられていて、びっくりしました。

鹿嶋（クリーンセンター） 私も同じ湊小です。五月下旬の約一週間、そこで

町長 被災地には、被災者の出入りを把握し、転出入記録を作成するのが主な屋内での仕事でした。人の出入りが激しく、結構大変でした。ただ、救済物資の仕分けや配布などは、ボランティア団体がすべて引き受けてくれたので、助かりました。

でも、ほかに日に三回の仮設トイレの掃除やたき木作り、道の修繕、大量のゴミ分別など、屋外での仕事がたくさんあり、朝五時から夜九時頃まで大忙しの毎日でした。

# 9月9日は「救急の日」

救急医療と救急業務に対する正しい理解と認識を深めていただくため、毎年9月9日を「救急の日」と定め、この日を含む一週間を「救急医療週間」としています。

この機会にもう一度、応急手当の重要性や救急車の正しい利用方法について考えてみましょう。

## 応急手当の重要性について

応急手当の重要性は、急病やケガにより救急車が現場に到着するまでの間、その場に居合わせた人が適切な応急処置を速やかに実施することによって、傷病者の救命率が一層向上する点にあります。

## 救急車の適正利用のお願い

近年、全国的に救急出場の件数は増加している傾向があります。高齢化が進んだことや、救急車が皆さんに身近な存在として、とらえてもらえるようになったからです。しかし、安易に救急車を呼ぶ風潮（明らかに軽症である場合の利用や、タクシー代わりの利用）があるのも事実です。救急車の適正利用をお願いする理由、それは安易な救急車の利用により救急車の稼働率が上がり、重篤なケガや病気をしている人

への到着が遅れること、1分1秒を争い助かるはずの命を救えなくなることを心配するからです。

休祭日や夜間等の病院を照会される時は、町消防署（☎876-0119）におたずねください。

## 普通救命講習受講者募集

救命率向上のためには、住民による応急手当、救急隊員による応急処置と搬送、医療機関での治療というスムーズな連携が不可欠であり、連携プレーの第1歩が、あなたの応急手当から始まるのです。この講習では、AED（自動体外式除細動器）の取り扱いを含む「普通救命講習」を開催しております。

日時 10月21日（金）9時～12時

（定員に達した場合、午後の部13時30分～16時30分を開催します）

場所 消防庁舎地下講堂

対象 町内在住在勤の15歳以上の人

定員 16人（先着順）

締切 9月30日（金）17時

申込み・問合せ

申請書に必要事項を書いて、提出してください。

消防本部 ☎876-0119

内線222 FAX876-1263

## 「県市町村合同派遣隊」派遣結果報告会

町では、消防力の援助及び避難所の運営支援等を目的として、東日本大震災の被災地へ職員を派遣しております。そこで、派遣された職員からの派遣結果報告を共有することを目的として、標記報告会を開催する予定です。

○開催日 10月8日（土）

○開催場所 福祉文化会館

○参加要件 どなたでも参加可能

※開催日及び開催場所は予定です。広報はやま10月号において、あらためてお知らせします。

問合せ 総務課 ☎内線561

※湘南ビーチFMトークイン葉山でも放送が決定。

詳しくは8ページをご覧ください。

## 葉山町発着 復興支援ボランティアバスツアー参加者募集

町社会福祉協議会では、東日本大震災で被災した岩手県内の復興支援のため、ボランティアバスツアーを実施します。

### 【事前学習会】

日時 9月20日（火）19時～21時

場所 町消防本部 地下講堂

【ボランティアバスツアー】

出発日 9月27日（火）22時頃役場出発

9月30日（金）夜帰着

集合場所 役場駐車場

宿泊場所 初日は車中泊

二・三日目は「かながわ東日本大震災ボランティアアステーション遠野センター」

活動内容 家屋の片付け、泥出し等

（状況により変更する場合あり）

募集人員 40人（満席になり次第締切）

費用 4000円（宿泊は無料、ボラ

ンティア保険・食事 別）

保険 ボランティア活動保険（天災プラン）に加入してください。（社会福祉協議会で加入できます）

参加資格

- ①18歳以上、自己責任で活動できる人
- ②体力に自信のある人
- ③事前学習会に参加できる人

装備（必需品）

作業着（汚れても良い服装）、着替え、タオル、帽子、防塵マスク、厚手のゴム手袋、保険証、ビニール袋（汚れたものを入れる用）、飲食物 等。（詳細は事前学習会でも説明します）

申込み・問合せ 町社会福祉協議会

☎875-9889（担当・山下）

# 災害時に備えて

## 防災の日

大正12年9月1日に関東大震災が発生しました。地震の揺れの強さを示す震度は最大で7、地震そのものの大きさを示すマグニチュードは7・9を計測した大地震です。

これを教訓として、毎年9月1日は「防災の日」、この日を含む8月30日～9月5日は「防災週間」と定められています。

平成7年に発生した阪神・淡路大震災、今年3月11日を発端とする東日本大震災により、全国的に防災意識は高まってきておりますが、この時期に皆さんひとりひとりが改めて、防災について考え、いざという時に備えましょう。

## 日ごろの備え

### ・避難場所の確認

長期滞在型避難場所と一時避難場所があります。前者は、上山口小学校、一色小学校、葉山小学校、葉山中学校、長柄小学校、南郷中学校の各体育館と南郷上ノ山公園が該当します。後者は、

前者に加えて、児童館とその他の公園等が該当します。

原則として徒歩で避難することとなるため、実際に避難所まで辿り、道のりを確認しましょう。

避難場所の一覧は、次のURLアドレスで確認できます。

[http://www.town.hayama.lg.jp/about/bousai/pdf/bousai\\_s3.pdf](http://www.town.hayama.lg.jp/about/bousai/pdf/bousai_s3.pdf)

(葉山町地域防災計画資料編「避難・救護・防疫」)

### ・家族の安否確認の方法

災害時には電話が不通となる場合が多くあります。

NTTによる「災害用伝言ダイヤル171」、その他各携帯電話会社による「災害用伝言板」の利用方法を学びましょう。毎月1日と15日、そして防災週間等は、これらが体験できる日とされています。

災害時にどのように連絡を取り合うか家族で決めておきましょう。

### ・非常持出品の準備

避難に備えて、すぐに持ち出せるように準備しておきましょう。

☆代表的な非常持出品

懐中電灯(予備電池)、携帯ラジオ(予備電池)、携帯電話(予備バッテリー)、10円玉(公衆電話用)、ヘルメットまたは防災ずきん、非常食(火や水を使用せずに食べられる乾パンや缶詰等が重宝します)、ペットボトル飲料水、常備薬、衛生用品(マスク、ウェットティッシュ、ドライシャンプー等)、貴重品、衣類、生活用品(ライター、ろうそく、ラップ等)

問合せ 総務課 ☎内線561

## 防災行政無線

防災行政無線は、町内全域に一斉に情報伝達するための設備です。町では、気象警報と津波情報等の災害情報は男性の声で、それ以外の緊急性を伴わない情報は女性の声で放送しています。防災行政無線の放送がよく聞き取れなかった場合の内容確認方法をおさらいします。

①テレホンサービス(☎87514000)

防災行政無線の放送後、1時間以内程度を目安として、放送内容を音声で確認できるサービスです。

②電子メールサービス

事前に登録することで、防災行政無線の放送内容を携帯電話やパソコンなどに電子メールでお知らせするサービス

です。

登録方法…次の登録用アドレスあてに空メールを送信します。

[bousai-hayama-t@ktaiwork.jp](mailto:bousai-hayama-t@ktaiwork.jp)

登録後まもなく登録完了の確認メールが配信されます。以降は、防災行政無線の放送後、その内容について自動的に電子メールが届きます。

※登録や配信にかかる通信費が登録者の負担になることや、深夜にもメールが配信されることがあること等の利用規約に同意の上で登録してください。

詳しくは、総務課防災係まで。

③湘南ビーチFM 78・9MHz

防災行政無線の放送後5分以内の時間帯を目安として、ラジオチャンネル「湘南ビーチFM」の各番組内において、同じ内容を割込み放送しています。

④葉山町ホームページ

トップページ右上部に防災に関する情報欄が設けられています。気象警報や津波情報が発表されている場合は、その欄に当該情報が表示されます。

問合せ 総務課 ☎内線561

### ●パブリックコメント

第三次葉山町総合計画中期基本計画の計画期間が平成23年度で終了することから平成24年度から平成26年度までを計画期間とする後期基本計画の策定作業をしています。

後期基本計画(案)について皆さんからのご意見を伺います。

期間 9月15日(木)～10月14日(金)

閲覧場所 役場1階情報コーナー、企画調整課、図書館、福祉文化会館、保健センター及び町ホームページ

意見提出 計画への意見を明記の上、

郵便かFAX、メールで public1108

01@town.hayama.lg.jp へ

### ●住民の意見を伺う会

後期基本計画(案)について、住民の皆さんの意見を伺います。

日時 9月16日(金) 19時～20時30分

9月17日(土) 14時～15時30分

場所 福祉文化会館

申込み 9月14日(水) 17時までに

電話で申し込み

問合せ 企画調整課 ☎内線331

お知らせ

## 民間木造住宅の無料耐震相談会の開催と 診断補助制度

「葉山町耐震改修促進計画」に基づき、昭和56年以前に建てられた建物の耐震化を進めています。その支援策として、木造住宅の無料耐震相談会を開催します。お住まいの住宅の状況を知る良い機会ですので、ぜひお申込みください。

日時 9月7日(水)、9月11日(日) 13時～16時30分

場所 役場2階会議室(2-1・2-2会議室)、1階食堂

対象 ①～③全てに該当)

①町民が所有し、自ら居住している住宅 ②昭和56年以前に建築されたもの

③地上3階建て以下の木造在来工法の戸建住宅、二世帯住宅または店舗兼用住宅

予定件数 20件※予定件数に達し次第、締め切ります。

持ち物 建築確認申請書、平面図又は間取り図等の図面

申込み・問合せ 8月23日(火)～9月6日(火)まで、電話か直接窓口へ 都市計画課 ☎内線354

※なお、無料相談を受けた人で、下記の簡易診断、一般診断の実施を希望される人は別途町の補助制度が利用できます。相談会開催後の耐震相談、平成21年1月31日までに簡易診断や一般診断が完了した場合の耐震改修等については窓口で直接ご相談ください。

### 民間木造住宅の耐震診断の補助制度

補助金の対象		金額の内訳			
		総額	補助金額	自己負担額	
①	簡易診断	相談会での総合評点※1.0未満の場合、専門者が現地を確認し診断	3万円	2万円	1万円
②	一般診断	簡易診断でも総合評点※が1.0未満の場合、より専門的な観点から診断しそれに基づいた基本的な改修計画を作成	5万円	2万5千円	2万5千円

※総合評点とは…木造住宅の耐震構造性能を総合的に判断するもので、建物の安全性を数値で示すものです。